

人工衛星を活用した水道管路の漏水調査業務の共同発注に

関する基本合意締結式

本市では、令和6年3月19日（火）に宮城県庁にて、本市を含む県内11市町及び相馬地方広域水道企業団（福島県）と、人工衛星を活用した水道管路の漏水調査の共同発注に関する基本合意を締結しました。

人工衛星から地上にレーダーを照射し、反射したレーダーの違いから、地下水を水道水か否か判別し、それで得た画像と管路データをAIで解析し、漏水疑いのあるエリアを地図上に示します。

現在は、路面音聴調査等により漏水調査を行っていますが、人工衛星機能を活用することで、漏水範囲の把握、漏水箇所発見の精度向上及び漏水量の削減が見込まれます。また、複数事業者で共同発注することにより、各自治体の経費削減が見込まれます。



今後、県及び事業者による選定委員会での業者選定後（R6.6月頃）、人工衛星を活用した漏水調査を行っていく予定です。

